

志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会 第13回検討会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和5年3月27日（月）午後6時15分から午後7時30分まで
 - 2 開催場所 グリーンカレッジホール 3階 教室1
 - 3 出席者 検討会委員20名【欠席者2名】
教育委員会事務局 学校配置調整担当課長、新しい学校づくり課長
教育委員会事務局副参事（施設整備担当）
新しい学校づくり課学校整備係長、学校配置調整第一係長
新しい学校づくり課職員3名
政策経営部 施設経営課長
教育施設第二係長
施設経営課職員2名
松田平田設計・教育施設研究所設計共同企業体職員3名
 - 4 傍聴者数 9名
-

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、検温、手指の消毒、会場の換気を行うなどの取組を実施した。

1 開会

2 検討会会長 挨拶

3 第1回PTA作業部会の報告について【資料1】

第1回PTA作業部会では、志村小・志村四中が小中一貫型学校として改築されることに伴い、志村小と志村四中のPTAの組織体制について、以下のうちいずれの案を採用するか検討を行った。

- (1) 小学校と中学校のPTA組織を一体化して運営する
- (2) 小学校と中学校のPTA組織を別々に運営し、必要に応じて連携をとる。

検討の結果、小学校と中学校のPTA組織を別々に運営し、必要に応じて連携をとる方向で作業部会の見解がまとまった。

《質問・意見なし》

4 基本設計案の説明会の報告について【資料2】

(1) 基本設計案の説明

3月7日、3月9日、3月11日に実施した基本設計案の説明会において示した内容について、事務局から検討会委員へ報告した。

(2) 意見・質問の紹介及び回答

説明会の会場で出た意見・質問や、後日に質問票により寄せられた意見・質問について、区の回答と併せて紹介した。

※意見・質問の内容については、区ホームページ「志村小学校・志村第四中学校の小中一貫型学校の改築について」に掲載しています。下記二次元コードからアクセスできます。



(3) 最新検討図面の説明

特別支援学級の教室の配置について、説明会開催時点では南側の校舎1階に小中の特別支援学級をまとめて配置する計画であったが、説明会で出た意見や学校側との協議により、インクルーシブ教育の観点から、南側の校舎1階に小学校の特別支援学級の教室を配置し、北側の校舎1階に特別支援学級の教室を配置する計画へ変更となったため、変更後の図面について説明を行った。

委員： 有事の際に小中一貫型学校へ避難する場合は、2階または4階の体育館へ誘導することになると思う。小中一貫型学校の設置が計画されている地域は、荒川氾濫時に一定程度浸水すると聞いているが、体育館が地面からどのくらいの高さに設置されるか具体的な数値を定めているのか。

事務局： 小中一貫型学校が設置される地域は、荒川氾濫時に3mから5mの浸水が想定されているため、その点を踏まえて、2階以上に体育館を設置する想定としている。

床の高さについては、現在の設計案では2階の体育館で約5m、4階の体育館で約12mとする想定である。

委員： 浸水の高さより高い位置であれば問題ないと思う。具体的な数値を聞いて安心した。

委員： 中学生の授業は、教科ごとに教室を移動する運営方式となるようだが、板橋区内の中学校で同じ運営方式を実施している学校はあるのか。

事務局： 赤塚二中、中台中、上板橋二中において教科教室型の運営を採用している。また、現在改築計画を進めている上板橋一中においても、新校舎では教科教室型の運営を採用する予定である。

委員： 教科教室型の運営における学校生活では、ホームベースに設置されている各自のロッカーに荷物を置き、休み時間にホームベースへ次の授業の教

材を取りに戻ると説明があったが、ロッカー周辺が混雑するのではないかと少し心配である。既に教科教室型の運営をしている学校の様子や対応を知りたい。

事務局：教科教室型の運営をしている既存の学校では、休み時間に毎回ロッカーに戻るのではなく、手提げ袋に複数の教科の教材をまとめて入れて持ち歩くような工夫をしていると聞いている。

また、学校生活においては、生徒が各教科の教室へ向かうため、能動的に行動する機会が多くなり、主体性が育まれるということも聞いている。

教科教室型の運営における暮らしぶりについては、設計案の説明会において、図面を使って児童・生徒の動線を説明しており、同じ内容を動画にしてアップロードしている。それと併せて、既に教科教室型の運営をしている区内中学校の実例を紹介する等により、わかりやすい情報提供をしていく。

委員：防犯カメラの位置等は、現在の図面には載っていないが、設置の検討はされているのか。

事務局：防犯カメラは設置される予定である。配置等については、所管部署において今後検討していく。

委員：南側の広場に、消防車等の緊急車両が乗り入れる場所は想定されていないのか。

事務局：今後、消防と協議を行い、緊急車両の動線について確認する。それを踏まえて、緊急車両が円滑に出入りできるよう外構を詳しく検討していく。

委員：2階の職員室について、小中一貫型学校になって、職員室が小中で一つとなることを考えると、もう少し広い方が良いのではないかと思う。

事務局：職員室は小中で一つになるが、想定される職員数に対し必要な面積を確保した設定となっている。

また、職員室の使い方についても今後検討を進めていく。例えば板橋第十小学校では職員室にフリーアドレスを採用している。フリーアドレスの場合、従来の固定席に比べ柔軟にスペースを活用できる利点がある。このような先進事例等を踏まえて、教職員が使いやすい職員室を検討していく。

委員：志村四中は選挙の際に投票所として使われているが、改築後の新校舎においては、どの部屋を投票所として使うのか。また、土足でも入れるよう

な仕様となるか。

事務局： 現時点では、投票所としてどの部屋を使用するか検討していない。

土足での出入りについて、区内の小中学校を投票所として使用する際、普段は上履きで出入りする場所に養生シートを敷き、投票時に土足で出入りできるよう対応している。小中一貫型学校においても同様の対応とすることを想定している。

投票に適した部屋の確保や環境の整備については、今後、選挙管理委員会事務局と連携し検討する。

委員： 説明会ではいろいろと質問や意見が出たようだが、説明会は今後も開催する予定なのか。

事務局： 基本設計案についての説明会を、3月7日から11日にかけて開催した。今後も説明会を開催するかについては決まっていないが、必要に応じて開催を検討する。

委員： 説明会では様々な意見が出ているが、全ての意見に完璧に対応することは難しいと思う。区がイニシアチブをとって、しっかりと計画を進めてもらいたい。

委員： 体育館について、ステージが2階の小学校の体育館のみに記載され、4階の中学校の体育館にはステージが記載されていない。2階の小学校の体育館で入学式等の式典を行い、4階の中学校の体育館は部活や体育の授業等で使用することを想定しているということか。

事務局： その通りである。

会長： 今回、教科教室型の学校運営に対するご心配や、防犯カメラの設置、職員室の広さ等についてご意見をいただいた。職員室の大きさについては、小中一貫型学校の将来的な学級数の推計値を基に、教員の数や配置を想定し、必要な面積を確保している。

また、今後実施設計に入っていくため、本日お示しした最新の検討図面から、若干の変更となる可能性があるということをご理解いただきたい。

5 事務局からの事務連絡

次回の検討会の開催日時について

6 次回予定

第14回検討会（予定）

日時：令和5年6月9日（金） 18時15分から（予定）

場所：グリーンカレッジホール 3階 教室1